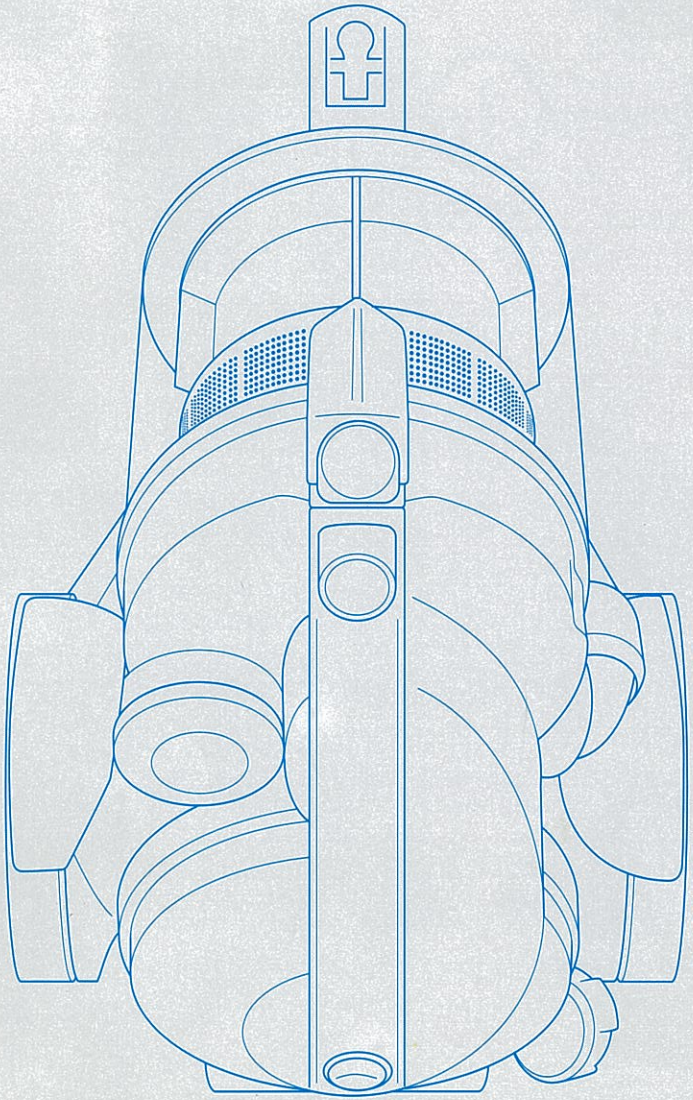
dyson dual cyclone TECHNOLOGY

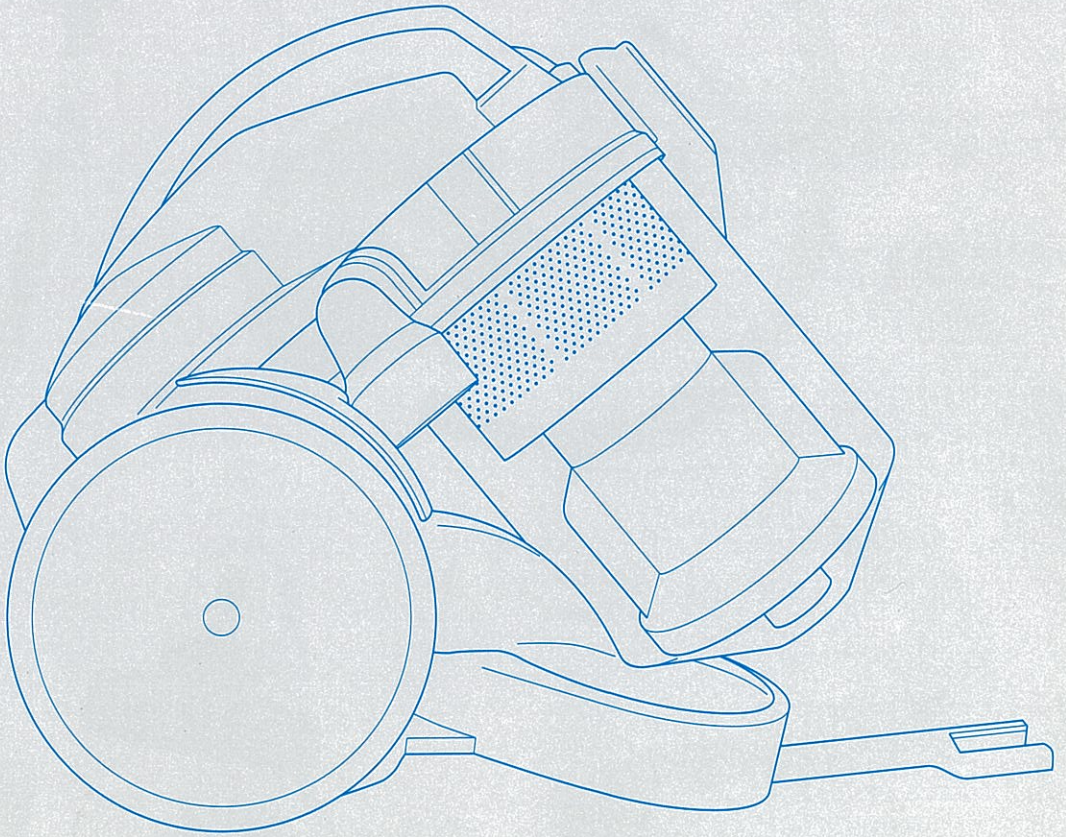
IR

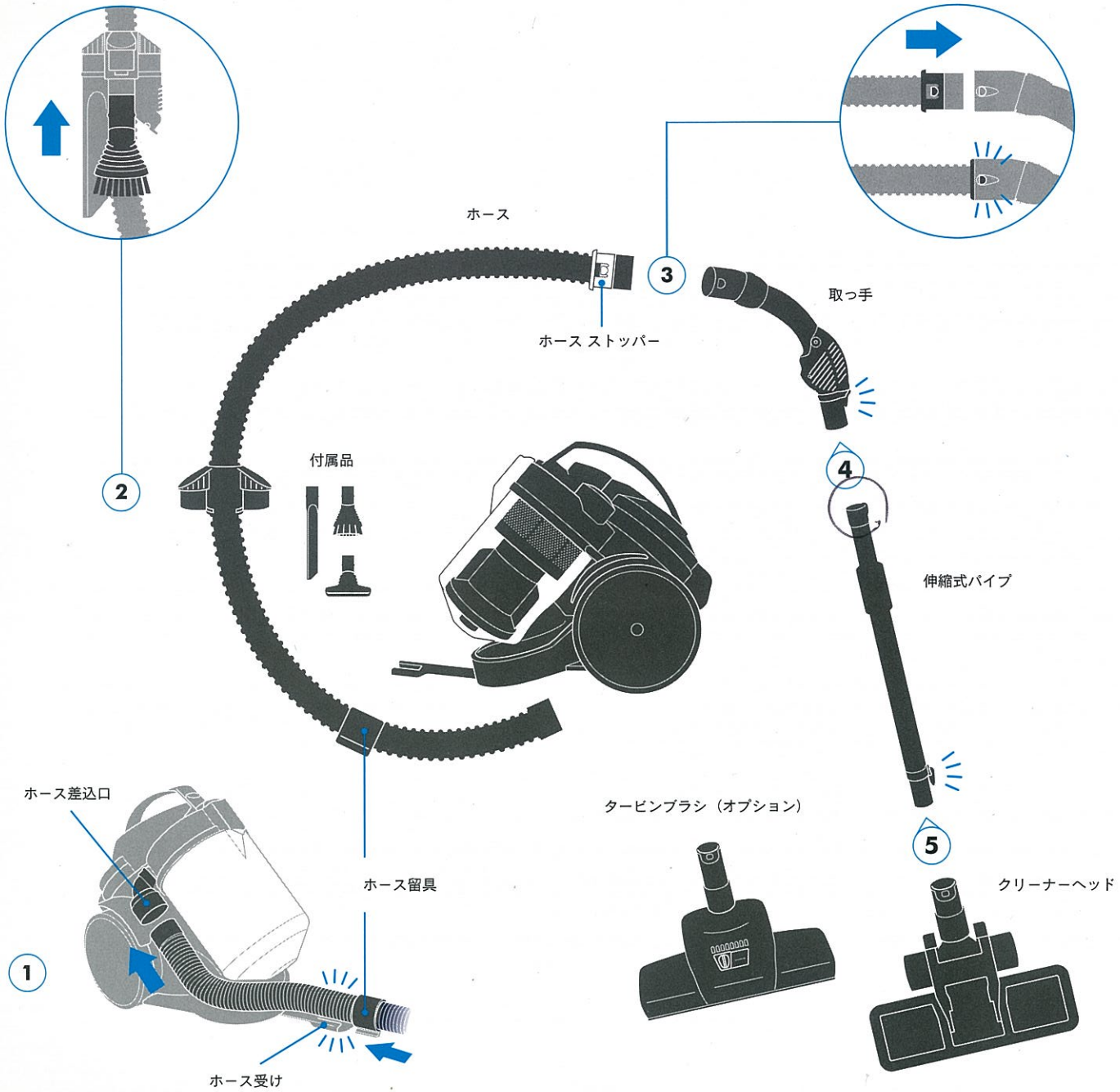
DC 05 IR

取扱説明書

ご使用前に必ずよく
お読みください

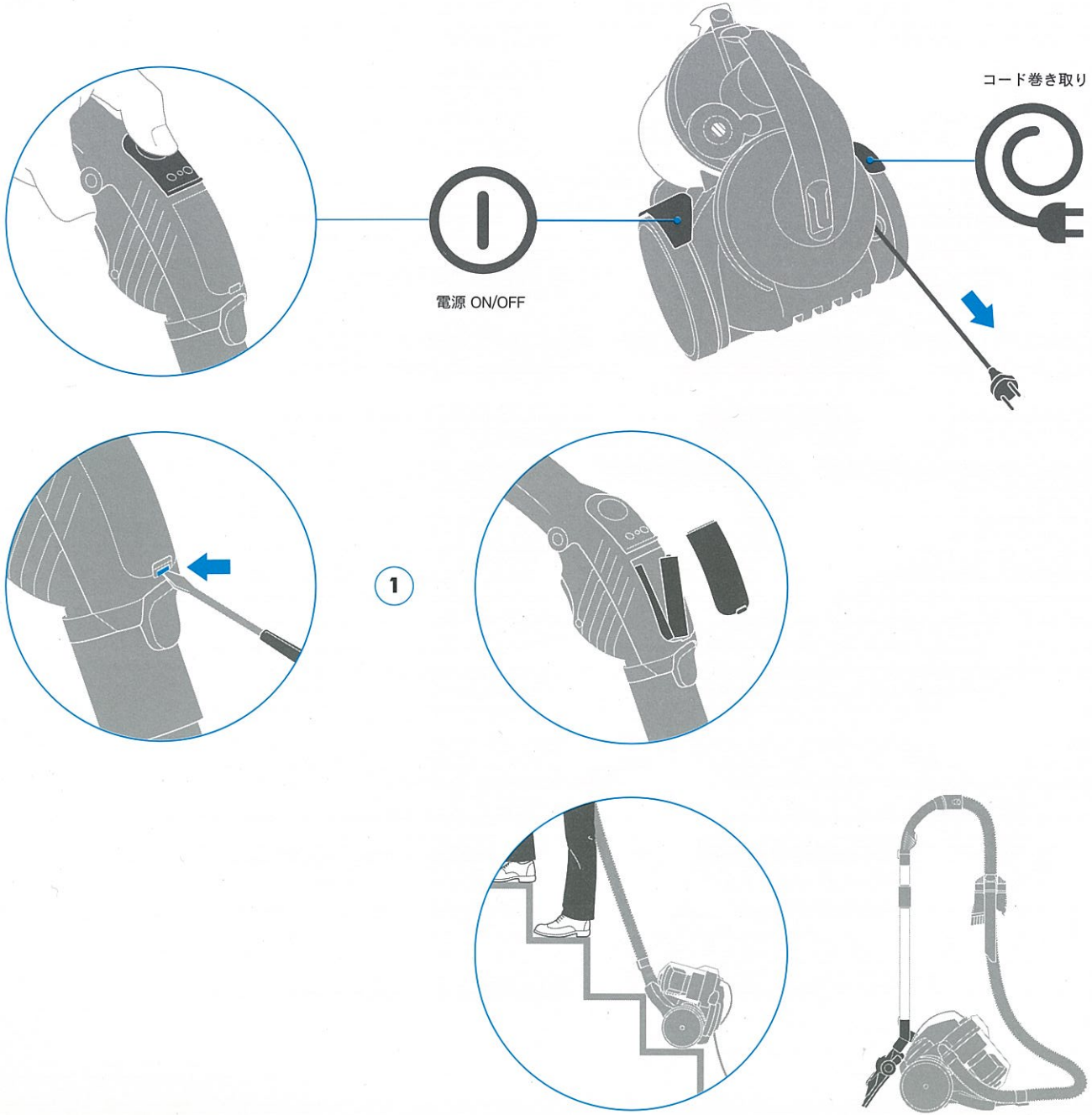






ダイソン掃除機の組み立て

1. ホース留具をホース受けにしっかりと取りつけます。ホースの端をホース差込口に挿入します。
2. 付属品は収納ホルスターに取りつけてください。
3. ホース ストッパーをホースの端まで移動させます。ボタンがパイプ取っ手にしっかりと留まるまで、ストッパーを差し込んでください。
4. パイプ取っ手に伸縮式パイプが留まるまで差し込みます。
5. クリーナーヘッドまたはタービンブラシを、ストッパーがしっかり留まるまで伸縮式パイプに差し込んでください。



ダイソン掃除機の使い方

電源プラグは、本体後部にある右側の車輪の横に収納されています。電源コードを完全に引き出して、プラグをコンセントに差し込んでください。

電源ON/OFF

手元ON/OFFリモコン

パイプの取っ手のON/OFFスイッチを押します。赤外線が送られたことを知らせる赤いLED（発光ダイオード）ランプが1秒間点灯します。

1

リモコンの電池は、取っ手のバッテリーカバーを小型のスクリュードライバーなどであけて、正しい方向に入れてください。

本体ON/OFFボタン

本体後部の左側の車輪上にあるON/OFFボタンでも掃除機の電源ON/OFF切替ができます。

コードの巻き取り

コンセントから電源プラグを抜き、本体後部の右側の車輪上にあるボタンを押すと、コードを巻き取ることができます。

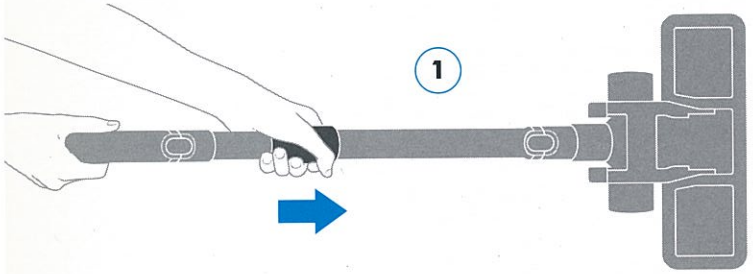
DC05は階段の上にも安定して留まります。ただし、安全のため、階段を掃除するときは必ず掃除機より上の段に立って操作してください。また、DC05のパイプの留具を本体の取っ手下のホルダーに収めればパイプを本体に固定でき、掃除機をそのまま収納できます。

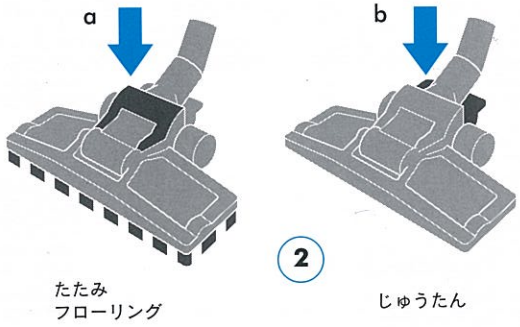
熱探知・自動OFF装置

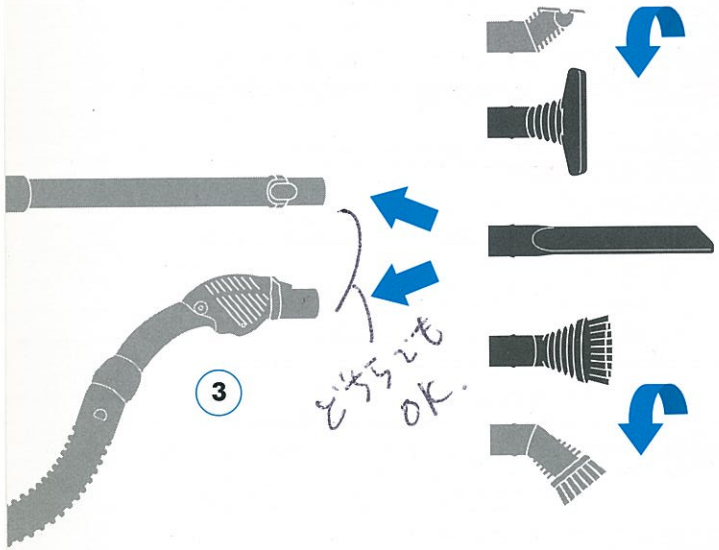
使用中に掃除機本体が温まるのは、異常ではありません。DC05には安全のため、空気の流れが妨げられた場合、掃除機が過熱するのを防ぐ熱探知・自動OFF装置が内蔵されています。詳しくは、8ページの「“故障かな？”と思ったら」を参照してください。

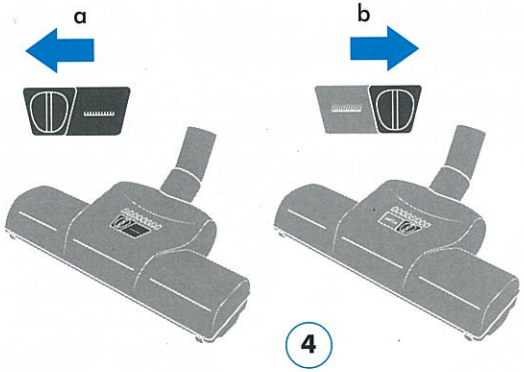
警告

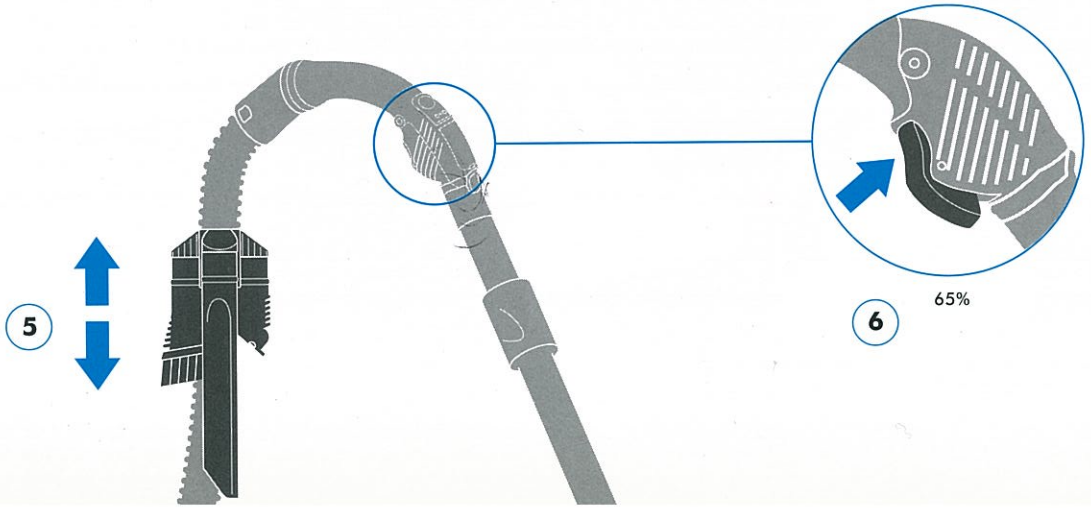
安全のため、掃除機を使用しないとき、また、お手入れを始める前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。











付属品の使い方

1. パイプの長さは、接続部を握って引けば簡単に調節できます。手を離すとロックがかかり、パイプはその長さに固定されます。

2. 掃除する床面に応じて、クリーナーヘッドの機能をヘッドについているレバーで調節します。たたみ、フローリングの場合は前のレバー(a)を押し、じゅうたんには後部のレバー(b)を押してください。

3. 付属品はすべてパイプおよびパイプの取っ手に装着できます。

階段用ノズル（角度調節可能）
家具の間などのじゅうたん面、階段、カーテン、布カバーなどの掃除にご使用ください。

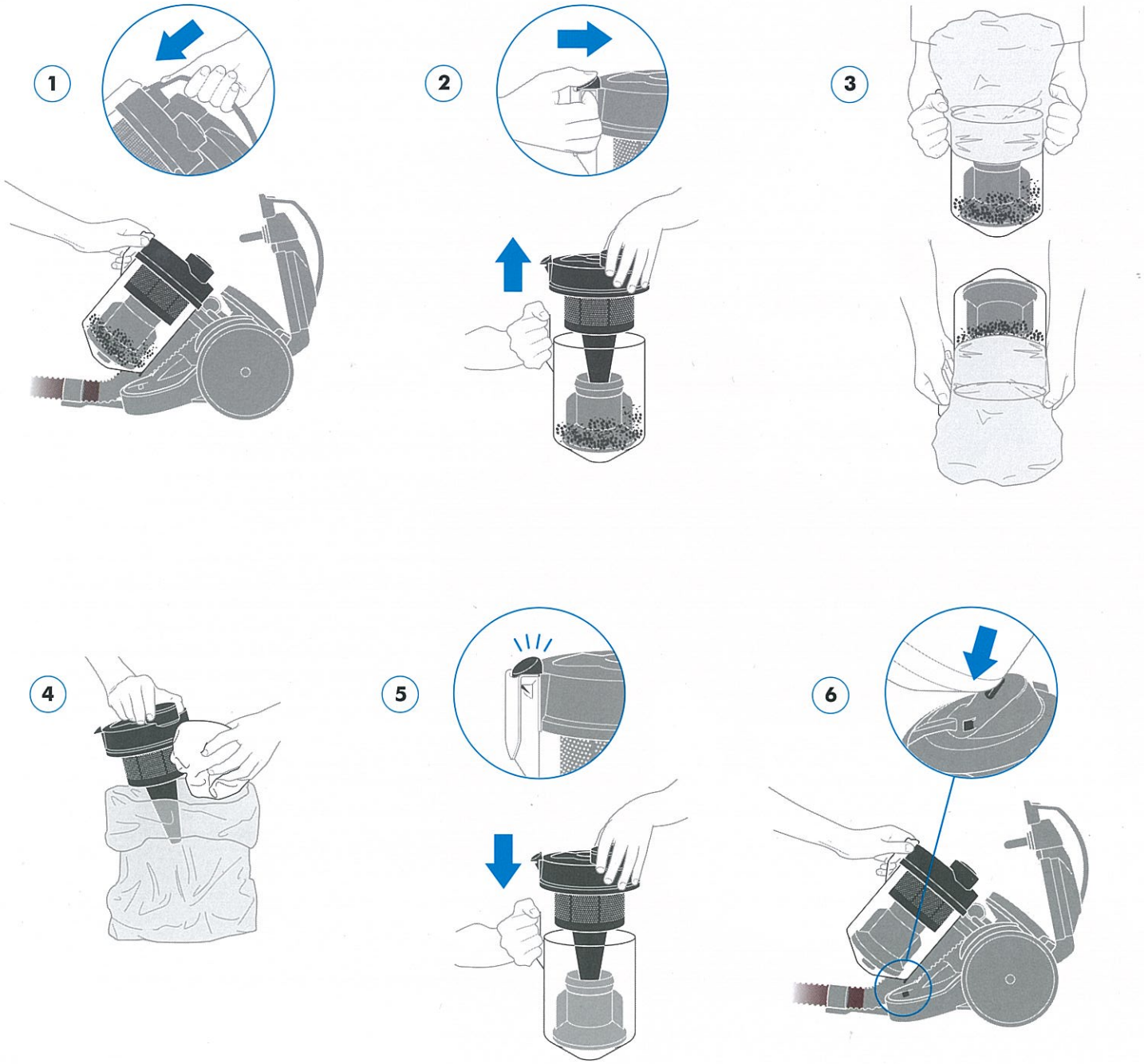
隙間ノズル
手が届きにくい場所も掃除できます。壁や家具の下端のそえ木などの掃除に最適です。

ブラシノズル（角度調節可能）
デリケートな塗装面やブラインドなどに最適な、柔らかいブラシつきノズルです。

4. **タービンブラシ**
じゅうたんの毛の長さに合わせてスイッチを切り替えることにより、ペットの抜け毛や糸くずなどを効率良く取り込むことができます。

5. 付属品収納ホルスターは、ホースのどの位置にも留まるよう調節できます。

6. カーテンや布カバーなどの掃除には、パイプ取っ手の下側の吸引力切替ボタンを押して、吸引力を65%に下げることもできます。



ゴミの捨て方

ゴミが透明シリンダーの「MAX」の線までたまったら、捨ててください。

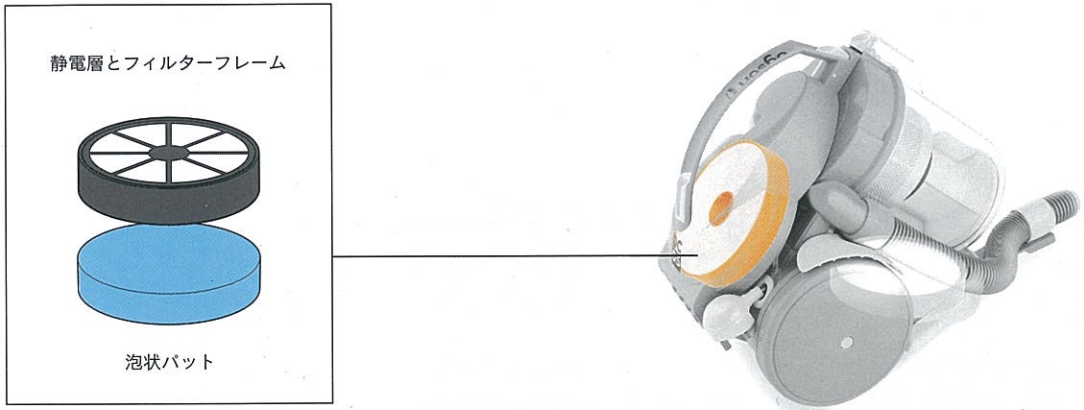
1. 本体の取っ手の先にあるストッパーを押して取っ手を引き上げ、本体フタを開けます。透明シリンダーを取り出します
2. 透明シリンダーの取っ手の上にあるツメを押して、取っ手を握りながらシリンダーのフタを取りはずします。
3. 透明シリンダーのふちをビニール袋でぴったり覆います。透明シリンダーを逆さまにして、細かいホコリが袋の底に落ち着くまで最低10秒間そのまま待ち、袋を閉じます。シリンダー内のゴミをそのままゴミ箱にお捨てになっても結構です。
4. 必要があれば、網目状シリンダーのホコリを布やブラシなどで落としてください。
5. 透明シリンダーのフタを戻して、ツメがしっかり留まるまで押してください。
6. 透明シリンダーの取っ手を手前にして、シリンダーの底のツメが本体の受け台の溝にしっかり収まるように所定の位置に戻してください。本体のフタは、ストッパーがしっかり留まるまでしっかり閉めてください。

その他のお手入れ

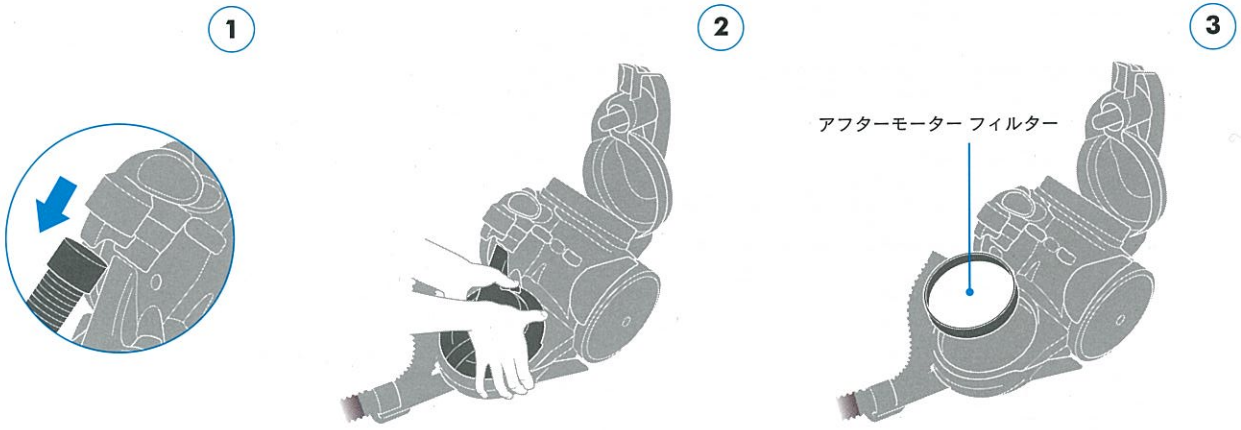
透明シリンダーは水で洗うこともできます。その際、洗剤はご使用にならないでください。内部シリンダーおよび黒いパッキング類は、はずさないでください。また、透明シリンダーは完全に乾いてから掃除機本体に取りつけてください。

- 掃除の際、じゅうたんによっては透明シリンダー内に弱い静電気が発生する可能性があります。この静電気はまったく無害で、コンセントの電気とは関係ありません。万全を期すため、透明シリンダーにたまったゴミを捨て、透明シリンダーを水で洗うまでは、手やものをなかに入れないでください。
- 掃除機全体を水に浸さないでください。
- 必ず透明シリンダーを所定の位置に正しく取りつけてからご使用ください。

プレモーター フィルター



アフターモーター フィルター



ダイソン交換不要 MEMA™ フィルター

MEMA™ - (Maximum efficiency Maximum Airflow - 最高効率・最高風力)
～加速された空気から生まれる高性能～

プレモーター フィルター

交換不要の静電プレモーター フィルター（洗浄可能）は、フィルターフレームで固定された白い静電層と泡状パットからつくられています。

フィルターは6か月ごとに洗浄してください。洗浄方法については7ページの「フィルターの洗浄方法」をご参照ください。

アフターモーター フィルター

交換不要の静電アフターモーター フィルターです。DCO5 Absolute（DCO5 アブソリュート）モデルとDCO5 Clear（DCO5 クリア）モデルには、交換不要のHEPAフィルターと殺菌スクリーンが搭載されています。

アフターモーター フィルターは、掃除機をご家庭で通常どおり使用した場合、交換の必要はありません。ただし、必要があり、6ページの「異物の除去」の手順に沿って作業を行った後でも空気の流れが妨げられている場合は、アフターモーター フィルターにホコリが固まってついていないかチェックしてください。

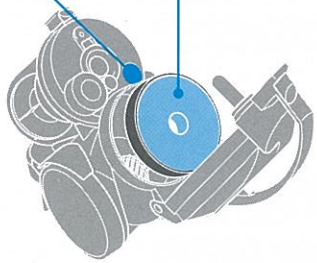
アフターモーター フィルターの交換の仕方

1. 透明シリンダーを取りはずします。ホース差込口からホースを引き抜きます。
2. シリンダーの受け台にある2つのツメを引いて、受け台を取りはずします。
3. 必要であれば、新しいフィルターと交換してください。フィルターを取りつけ、シリンダーの受け台をもとの位置にしっかりと戻してください。

ダイソン社製のフィルターまたはダイソン社が推奨するフィルター以外は使用しないでください。これら以外のフィルターを使用した場合、メーカー保証が無効になる場合もあります。

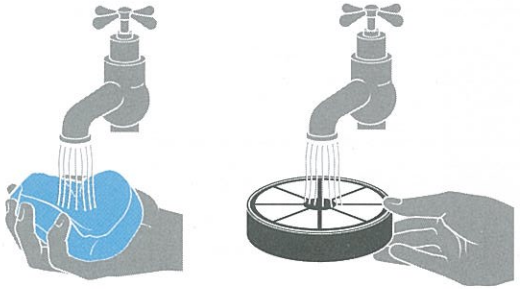
プレモーター フィルター

1

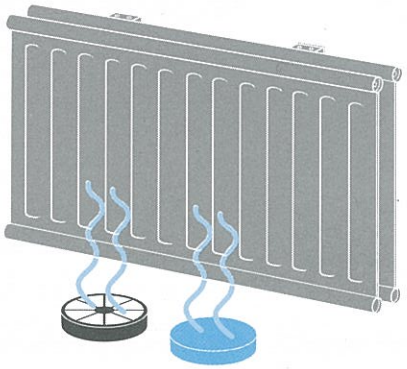


2

3



4



フィルターの洗浄方法

1 交換不要のプレモーター フィルターは、6か月ごとに洗浄してください。添付の丸いブルー・ステッカーに載っている洗浄する月（2か所）に○印をつけておきます。

例）掃除機を5月に購入した場合：
洗浄する月は11月と翌年5月

まず最初に、必ず掃除機の電源プラグをコンセントから抜いてください。本体の取っ手の先にあるストッパーを押して取っ手を引き上げ、本体フタを開けます。そして、フィルターを取り出します。

2 水を入れたボールを用意し、取り出したフィルターをその水のなかに浸します。泡状パットのつまみ部分を握りながら、パットをフィルターフレームからはがします。

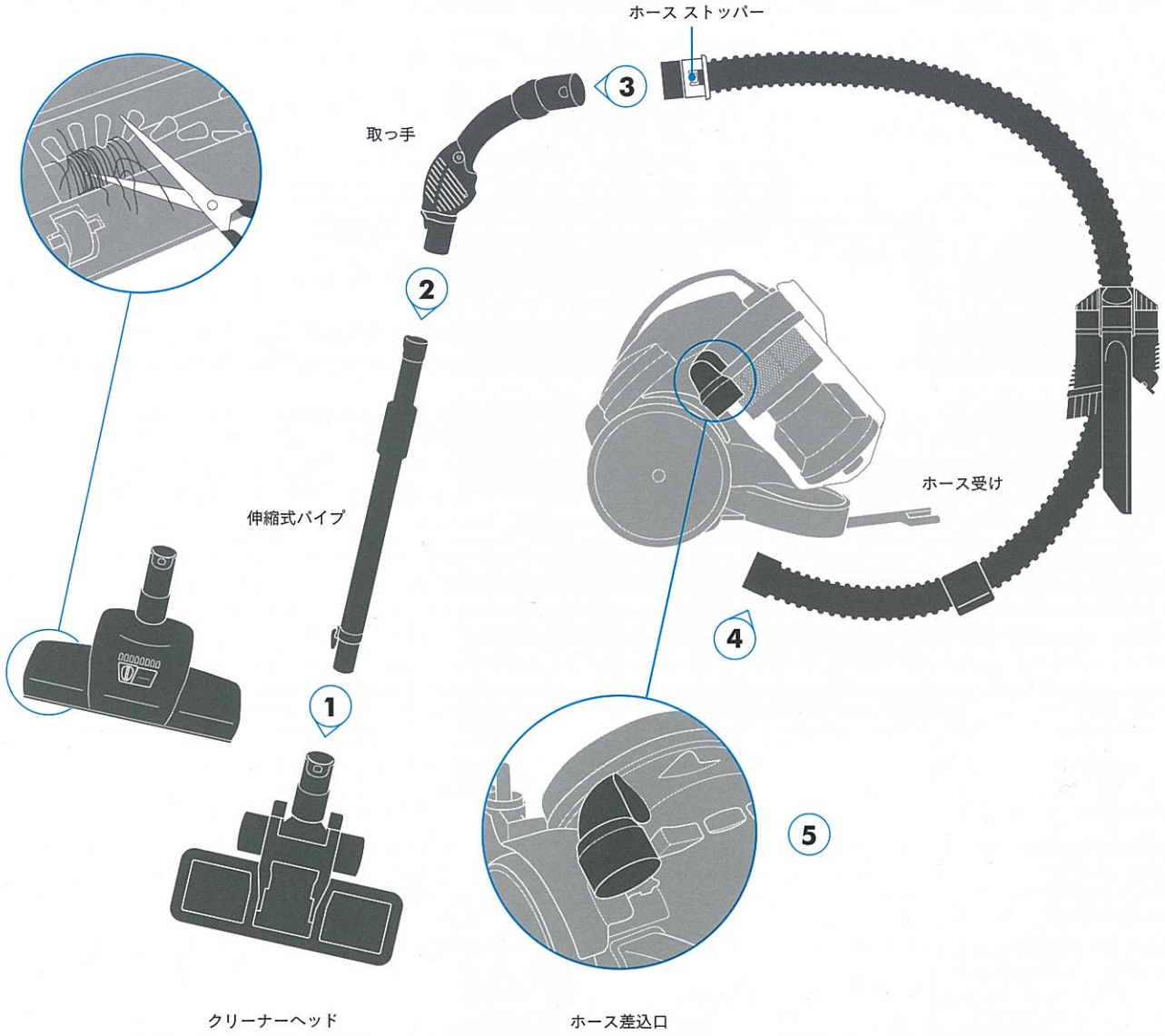
3 フィルターフレームと泡状パットは別々に洗浄してください。洗浄は水道の水を流しながら、洗い水が透明になるまで行います。その際、洗剤および洗濯機は使用しないでください。また、フィルターは使用していくうちに変色する場合もありますが、フィルターのろ過性能には影響を及ぼしません。

4 フィルターフレームおよび泡状パットについている余分な水滴をふるい落とし、ストーブの近くなどの暖かい場所に別々に置いて乾燥させます。その際、乾燥機や電子レンジ、オーブンなどは使用しないでください。また、直火にかけないでください。

フィルターが完全に乾いていることを確認してください。泡状パットをフィルターフレームに元どおり取りつけ、それらを掃除機の所定の位置に戻します。万一、洗浄作業中にフィルターの一部が破損した場合は使用を中止し、ダイソンお客様相談室へご連絡ください。

＊洗浄可能なフィルターの使用を希望されない場合は、同等のろ過性能を備えた洗浄不要のプレモーター フィルターをご使用いただけます。洗浄不要のフィルターは12か月に一度、交換が必要となります。ご注文につきましては、ダイソンお客様相談室にご連絡いただくか、または「付属品 ご注文用紙」をご利用ください。

⚠ ダイソン社製のフィルターまたはダイソン社が推奨するフィルター以外は使用しないでください。これら以外のフィルターを使用した場合、メーカー保証が無効になる場合もあります。



異物の除去

掃除機が異常な音を発する場合、あるいは通常の性能を発揮していないような場合は、異物が詰まっている可能性があります。

まずフィルターをチェックしてください。

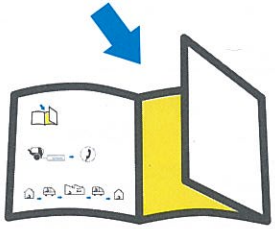
交換が必要であれば、5ページの「フィルターの交換」をご参照ください。

掃除機の電源プラグを抜いて、次の手順に従ってください。

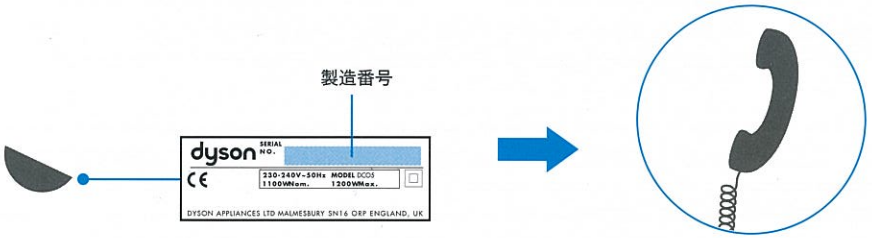
1. クリーナーヘッドまたはタービンブラシを伸縮式パイプからはずして、異物がないか開口部をチェックします。タービンブラシを使用している場合はブラシバーをチェックし、異物があれば図のようにタービンブラシから取り除いてください。
2. パイプをパイプの取っ手からはずし、パイプ内部を覗いて確認してください。
3. ホース ストッパーのボタンを押して、パイプの取っ手をホースからはずします。パイプ取っ手の内部を覗き、確認してください。
4. ホースをホース差込口からはずした後、ホース受けからはずします。パイプ全体に触れて、異物がないか確認してください。
5. 掃除機本体を開けて透明シリンダーを取り出します。ホース差込口を調べてください。
6. 掃除機を元どおり組み立てます。掃除機のスイッチを入れ、性能を確かめてください。

異物の除去は、掃除機の保証内容に含まれていません。“異物除去のみの修理”は有料となります。ご依頼の前に上記の手順に従い、よくご確認ください。

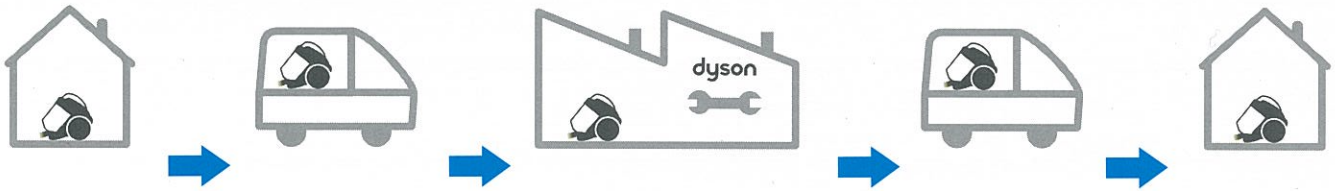
1



2



3



カスタマー サービス

ダイソンの掃除機は、すべて2年間のメーカー保証付きです。

1 掃除機に異常が生じたときは、まず８ページの「“故障かな？”と思ったら」をお読みください。それでも問題が解決できない場合は、「ダイソンお客様相談室」にお電話ください。

2 **ダイソンお客様相談室**

お客様相談室には、以下の事項を事前にご確認のうえ、お電話ください。

- **お買い上げのダイソン掃除機の製造番号**
（本体背面下の車輪横に記載）
- **お客様のお電話番号**
- **お買い上げの年月**
- **お買い上げの場所、または方法**
（販売店名、通販カタログ名など）

3 お問い合わせはほとんどの場合、当社の専門スタッフがお電話で対応できます。それ以上の措置が必要な場合は、お客様の掃除機をお引き取りにうかがい、ダイソン社で修理・テストおよびクリーニングを行った後、再びお客様のお手元にお届けします。

ダイソンでは、お電話をいただいてから72時間以内にお客様の掃除機をお手元にお届けするよう心がけています。

ダイソンお客様相談室 0120-295731

“故障かな？”と思ったら

通常の性能を発揮しない

フィルターをチェックして必要であれば交換してください。その他の場合、6ページの「異物の除去」の手順に従ってください。

運転が停止する

DC05には安全のため、空気の流れが妨げられた場合、掃除機が過熱するのを防ぐ熱探知・自動OFF装置が内蔵されています。過熱状態になる前に、掃除機は自動的に運転を停止します。掃除機の電源プラグをコンセントから抜いて、温度が下がるまで1時間ほどお待ちください。再び使用する前にフィルターを調べ、6ページの「異物の除去」の手順に従ってください。

異常な音がする

6ページの「異物の除去」の手順に従ってください。

フタがきちんと閉まらない

透明シリンダーの底のツメがシリンダーの受け台の溝にきちんと挿入されているかどうか確認し、本体のフタのストッパーがしっかり留まるまでフタを閉めてください（4ページの「ゴミの捨て方」参照）。

手元 ON / OFF リモコンが正常に作動しない

パイプの取っ手の送信部と本体の受信部のどちらにも汚れがついていないか確認してください。

天井が非常に高い建物、または車のなかでの掃除では、手元 ON / OFF リモコンの性能が若干、不安定になることがあります。問題が生じた場合は、本体の ON / OFF ボタンを使用してください（2ページの「ダイソン掃除機の使い方」参照）。

電池が切れていないか、また、電極（プラス、マイナス）が正しく装着されているかを確認してください。正しく装着されている場合は、電池切れですから2本とも交換してください。交換に際しては、タイプの異なる電池を用いたり、1本だけ交換するようなことは絶対にしないでください。必ず2本とも同一メーカーの新しい電池と交換してください（使用電池：アルカリ乾電池単4形2本）。
以上のことを守らずに使用しますと、最悪の場合、火災、爆発を引き起こす恐れもありますので、充分ご注意ください。
（2ページの「ダイソン掃除機の使い方」参照）。

⚠ 安全上のご注意　必ずお守りください

火災や感電、怪我などを未然に防ぐため、ダイソンDC05 掃除機をご使用される際には、
事前に以下の「警告」および「注意」に示された注意事項をよくお読みになったうえ、必ずこれに従ってください。

⚠警告
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

- お使いのコンセントの電圧が、製品仕様に記載されている電圧と適合していることを必ずご確認ください。
- 掃除機の一部に瑕疵があったり、紛失・損傷しているようであれば、いかなる箇所であれ掃除機は使用しないでください。このような場合は、「ダイソンお客様相談室」にご連絡ください。
- 掃除機の電源コードが破損した場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードの交換が必要です。電源コードの交換は、特殊な工具や専門技術を要するため、ダイソン社以外による修理・交換はできません。
- コンセントに電源プラグを差し込んだまま掃除機を放置しないでください。掃除機をご使用にならないとき、または掃除機のお手入れやメンテナンス作業を行う前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 手足や指を掃除機本体、特に回転ブラシに近づけないようご注意ください。特に小さいお子様が掃除機に近寄ったり、掃除機で遊んだり、また、掃除機をご使用にならないようくれぐれもご注意ください。
- この取扱説明書で指示されている内容以外の掃除機のお手入れ、特に電気部品に関わる部分のメンテナンスおよび改造は、行わないでください。
- 電源コード、電源プラグ、または掃除機本体が破損した場合、あるいは掃除機を落としたり、水やその他の液体をかけてしまった場合は、ご使用にならないでください。このようなときは、「ダイソンお客様相談室」にご連絡ください。
- 電源コードを無理に引っぱったり、掃除機本体などでひいたり、ドアにはさんだり、鋭利なものに引っ掛けたりしないようにしてください。電源コードが損傷する恐れがあります。また、電源コードは熱いものの近くや、その上に置かないでください。コードが損傷した場合は、「ダイソンお客様相談室」にご連絡ください。
- 階段を掃除するときは、掃除機より上の段に立ってご使用ください。
- 水やその他の液体を吸い取ることは、絶対におやめください。また、屋外、風呂場、シャワー室内、ぬれた床面などでご使用になると、感電の危険性がありますのでおやめください。
- ぬれた手で掃除機を操作したり、電源プラグに触れたりしないでください。
- 灯油、ガソリン、シンナーなどの可燃性の高いもの、燃えやすいものを吸い取ることはおやめください。また、これらのもののそばで掃除機を使用しないでください。アスベスト（石綿）、アスベスト塵、その他の有毒物（コピー機のトナーなど）を吸い取ることは絶対におやめください。
- 熱い灰や燃えているものを吸い取ることは絶対におやめください。
- 掃除機のお手入れをするときは、本体を水に浸すことはおやめください。水洗いできるのは、透明シリンダーだけです。透明シリンダーは、本体から取りはずしてゴミを捨てた後に、なかを水洗いできます。内部シリンダーおよび黒いパッキング類は、はずさないでください。透明シリンダーは、完全に乾いてから本体に取りつけてください。
- 火やガスの炎のそばで掃除機を使用しないでください。
- 電源プラグをコンセントから抜く前に、掃除機のスイッチをOFFにしてください。
- 電源プラグが傷んだり、コンセントや電源コードの差し込みがゆるいときは、ご使用にならないでください。
- 電源コードをクリーナーヘッドの回転ブラシに巻き込まないでください。
- 付属の電源コード以外のコードは、ご使用にならないでください。
- 電源プラグは、根元まで確実にコンセントに差し込んでください。
- 電源プラグのホコリなどは、定期的に取り除いてください。

⚠注意

- ご使用前に、必ずサイクロン部を本体の正しい位置に取りつけ、フィルターを装着してください。
- ダイソン社製、またはダイソン社が推奨する部品以外は、ご使用にならないでください。メーカー保証が無効になる場合もあります。ご不明の点がありましたら、「ダイソンお客様相談室」にお問い合わせください。
- たたみやフローリングを掃除するときは、必ず回転ブラシをOFFにしてください。じゅうたんに毛玉ができた場合は、回転ブラシをONにして掃除することで毛玉を取り除くか、じゅうたんの販売店にご相談ください。
- じゅうたんによっては、ご使用中に透明シリンダー内に静電気が発生する可能性があります。この静電気はコンセントの電気に関連するものではなく、まったく危険はありません。ただし万全を期すため、透明シリンダーにたまったゴミを捨てて、透明シリンダーのなかを水洗いするまでは、手や物をなかに入れないでください。網目状シリンダーについたホコリを取り除くときは、ブラシや湿らせた布をご使用ください。
- 掃除機の開口部や稼働部分に身体の一部、衣服、その他のものを近づけたり、挿入したりしないでください。また、開口部のいずれかが空気の流れを妨げる可能性のあるものでふさがれているときは、掃除機をご使用にならないでください。
- 掃除機を運ぶときは、必ず「付属品 収納部」の上にある「持ち運びハンドル」をお使いください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

仕様	
電源	100V　50Hz/60Hz
定格消費電力	880W
吸込仕事率	165W
真空度	18900 Pa
風量	1.16 m^3/min
コード長さ	5.0 m
質量	4.80 kg（備品等を除く）

本製品は、下記の知的所有権により保護されています。
各特許、意匠登録は上記以外の国においても成立済み、または申請・出願中です。
US 4 593 429, US 5 078 761, US 5 558 697, US 5 160 356, USSN 08/860 362, USSN 08/860 077, USSN 08/850 000, USSN 08/860 112, USSN 08/875 430, CA 1 182 613, CA 1 241 158, CA 2 056 161, CA 2 138 985, CA 2 209 071, CA 2 209 138, CA 2 211 828, CA 2 221 498, CA 2 222 537, EP 0 042 723, EP 0 636 338, EP 0 489 565, EP 0 647 114, EP 0 800 359, EP 0 800 360, EP 0 799 094, EP 0 799 093, EP 0 805 643, JP 1440279, JP 1440322, JP 1948863, JP 08-520310, JP 08-520311, JP 08-519602, JP 08-519610,　JP 08-522721, AU 637272, AU 669539, AU 691710, AU 697029, AU 695149, AU 695399, WO 98/02080, GB 9809837.9, GB 9815783.7, UK Reg Des 2 076 207.

ダイソン株式会社

〒102-0093
東京都千代田区平河町 1-7-11
平河町根本ビル 1 階
TEL: (03) 3238-8812（代表）
FAX: (03) 3238-8819

www.dyson.com

ダイソンお客様相談室
0120-295731

IR

02254-08-01 10/08/1999